

健全化判断指標の公表



平成25年度の決算報告と合わせ、地方公共団体の財政の健全化に関する法律(以下、財政健全化法)に基づき、健全化判断指標を公表します。

◆財政健全化法とは

自治体の財政破綻を未然に防ぐため、国が財政状況をより詳しく把握し、悪化した団体に対して早期に健全化を促すための法律です。

この法律では、自治体が財政破綻しないようにチェックするため、5つの目安(指標)が示されています。一つでも基準を達成しない場合は、早めに対応しなければなりません。

◆5つの目安(指標)とは

①実質赤字比率
一般会計を中心とした普通会計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。普通会計が赤字でないかをチェックします。

②連結実質赤字比率

国民健康保険事業会計や下水道事業会計などを加えた全ての会計の合計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。全会計を合わせて赤字でないかをチェックします。

③実質公債費比率

収入のうち、どのくらいを借金の返済に充てているかを表した割合です。現時点での借金返済額が大きい過ぎないかをチェックします。

④将来負担比率

収入に対する実質的な借金残高(これから返済しなければならぬ借金)の割合で、借金残高から貯金を引いた残りの額が年間収入の何%になるかを表した数値です。将来返済しなければならぬ借金が大き過ぎないかをチェックします。

⑤資金不足比率

水道事業会計などの企業会計が赤字の場合の、事業規模に対する赤字の割合です。企業会計が赤字でないかをチェックします。

表：各指標の数値

5つの目安(指標)	早めの対応が必要となる基準	日光市の数値(前年度比)
①実質赤字比率	12.06%以上	-
②連結実質赤字比率	17.06%以上	-
③実質公債費比率	25.0%以上	8.2% (▲0.4ポイント)
④将来負担比率	350.0%以上	53.4% (+1.6ポイント)
⑤資金不足比率	20.0%以上	-

◆各指標の日光市の数値

平成25年度における日光市の各指標の数値は右の表のとおりです。平成25年度決算において日光市では、③実質公債費比率が8・2%、④将来負担比率が53・4%となりました。これらの数値から、日光市は年収の約1割(8・2%)を借金の返済に充てており、借金残高から貯金を引いた実質的な借金残高は年収の約5割(53・4%)ということが分かります。どちらの数値も早めの対応が必要となる基準を下回っています。前年度と比べた場合、③実質公債

費比率は、0・4ポイント改善しています。これは、低金利などの影響により地方債の元利償還金が徐々に減っていることや、地方交付税で補てんされる割合が大きい有利な地方債を活用していることが主な理由です。また、④将来負担比率は1・6ポイント上がっており、前年度と比べて、日光市の将来的な負担が増えていることを示しています。これは、地方交付税で補てんされる額や基金への積み立ては増えている反面、総合支所庁舎や消防署の建て替えといった大規模な建設事業の実施に伴い、地方債の残高が増えたことによるものです。なお、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、⑤資金不足比率については、各会計とも黒字のため表示していません。

財政健全化法の基準で見た場合、日光市は早期に健全化のための対応を必要とする状況にはなっていません。しかし、地方交付税に依存していることや借金残高が多いことなど、財政状況が厳しいことに変わりはありません。こうした点にも注意しながら、今後も財政の健全化を図っていきます。

くわしくは

財政課 財政係 ☎(21)5162



くわしくは
健康課 保健指導班 ☎21-2756

糖尿病を 予防しましょう

11月14日は、「世界糖尿病デー」です。毎年、各地でシンボルカラー(青)のライトアップが行われます。県内でも、昨年は県庁昭和館と足利学校がライトアップされました。また、11月10日(月)～16日(日)は「糖尿病予防週間」です。それに合わせ糖尿病予防についてお知らせします。

●糖尿病ってどんな病気？

糖尿病は血糖値が高くなる病気です。体の中で唯一血糖値を下げるインスリンというホルモンが不足したり、上手に作用しなかつたりすることで、血液中の糖分が増えてしまうことで起こります。

●なぜインスリンが不足するの？

糖尿病は大きく分けて2つの種類があります。一つは、「I型糖尿病」で、インスリンを作る細胞が破壊されインスリンが作れなくなることで起こります。子どものうちに始まることが多いです。

もう一つは、「II型糖尿病」で、インスリンの働きが悪くなったり、出る量が少なくなったりすることで起こります。食事や生活習慣が関係している場合が多いです。



●糖尿病になりやすいかチェックしてみよう

- 太っている
- 食べ過ぎている
- お酒をたくさん飲む
- おやつを必ず食べる
- 脂っこいものが好き
- 甘いものが好き
- 夕食が遅く極端に多く食べる
- 食事時間が不規則
- 朝食は食べない
- ドリンクをよく飲む
- 運動不足である
- ゆっくり休めない
- ストレスがたまっている
- 40歳以上である
- 野菜や海藻類をあまり食べない
- 家族や親戚に糖尿病の人がいる
- 妊娠中に血糖値が高いと言われたことがある

チェックの数が多いほど糖尿病になりやすいです。

まずは、一般

健康診査・特定健診・はつらつ健診を受けて血糖値やHbA1cの値を確認しましょう。HbA1cとは、赤血球の中で体



内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンと、血液中のブドウ糖が結合したものです。過去1～2カ月間の平均的な血糖の状態を表すので、血糖値よりも正確な血糖の状態がわかります。

●血糖値・HbA1cが高めと言われたら？

- ★健康診査などで血糖値・HbA1cが高かったら、医師に相談し、定期的に検査を受けましょう。
- ★生活の中で積極的に体を動かし、肥満や太り気味を改善しましょう。
- ★1日3食、腹8分目で食べ過ぎないようにしましょう。野菜やきのこ類はたっぷり取りましょう。
- ★禁煙を心がけましょう。
- ★お酒は1日1合にし、週に2日は休肝日を設けましょう。

●糖尿病を悪化・重症化させないためには？

一度糖尿病と診断されたら、定期的に検査を受けて血糖のコントロールができていないかを確認することが大切です。血糖値は一度下がっても生活習慣が乱れるとまた上がってしまう、放っておくと知らず知らずうちに、合併症を発症することがあります。

